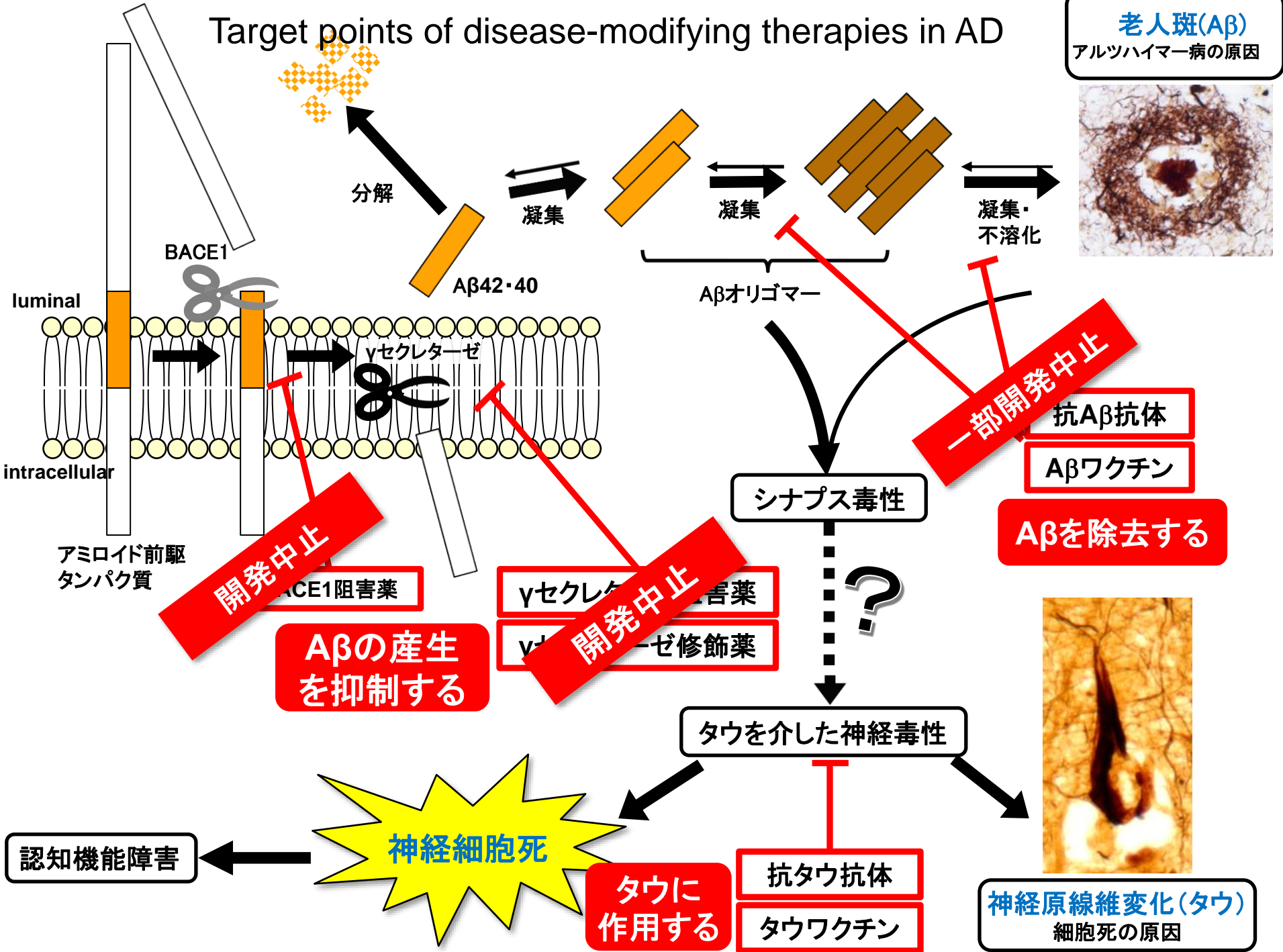
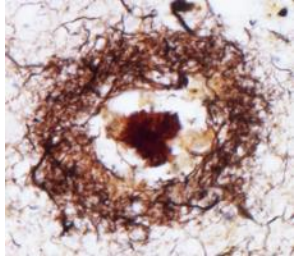


Target points of disease-modifying therapies in AD

老人斑(Aβ)
アルツハイマー病の原因



開発中止

Aβの産生を抑制する

γセクレターゼ阻害薬
γセクレターゼ修飾薬

開発中止

一部開発中止

抗Aβ抗体
Aβワクチン
Aβを除去する

タウを介した神経毒性

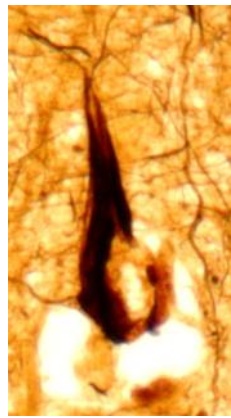
タウに作用する

抗タウ抗体
タウワクチン

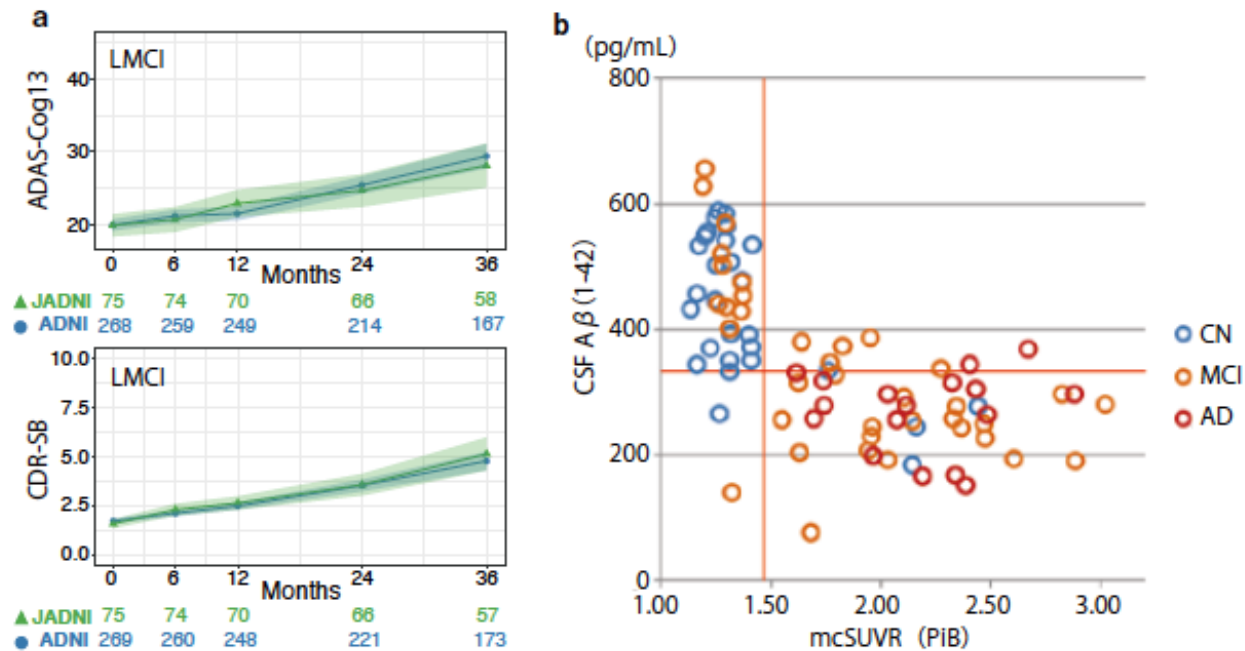
神経細胞死

認知機能障害

神経原線維変化(タウ) 細胞死の原因



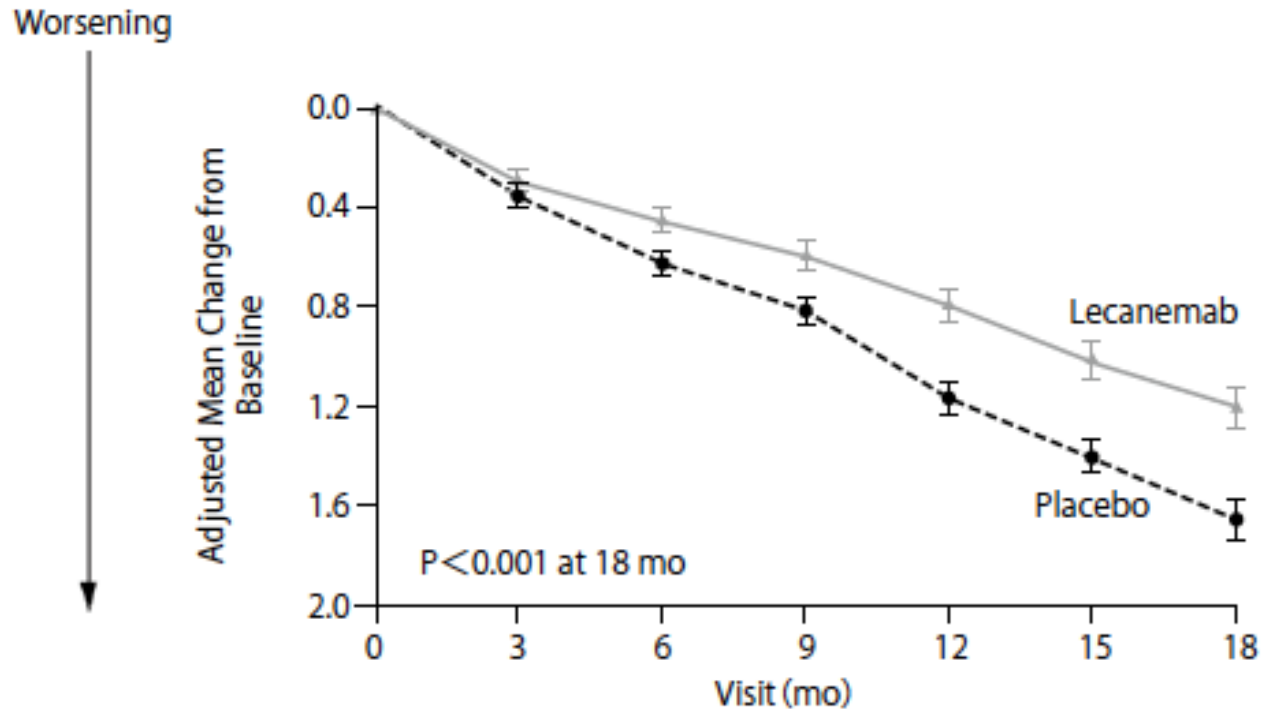
J-ADNI data in comparison with North American ADNI



a: MCI (LMCI) における、認知機能指標 ADAS-Cog13 と臨床・生活機能指標 CDR-SB の変化に関する、J-ADNI (緑線) と米国 ADNI (青線) 間での比較。線は平均値、色のついた帯は標準偏差の幅を示す。

b: J-ADNI におけるアミロイド PET (PiB) 陽性度 (横軸, mean cortical SUVR 値) と脳脊髄液 A β (1-42) 定量値。両者を検査した健常高齢者 (CN: 青)、MCI (橙)、軽症 AD (AD: 赤) 83 例のプロット。アミロイド PET 陽性例 (縦の赤線より右) は脳脊髄液 A β (1-42) 低値 (横の赤線より下) を示すことから、アミロイド PET, 脳脊髄液のいずれかを用いることにより、脳アミロイド陽性を同等に診断することが可能と考えられた。

Clinical trial of lecanemab (Clarity AD phase 3 study)



レカネマブ第Ⅲ相試験 Clarity における CDR-sum of boxes の経時的変化

実線がレカネマブ投与例，破線がプラセボの 18 か月間の経過を示す。

Outline of the J-TRC study

